

令和 8 年度 研究構想図

呉市立仁方中学校区

学校教育目標

自ら学び 心豊かな児童生徒の育成

中学校区で育成したい資質・能力

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等	
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	規範意識・公德心

【めざす児童像】

にこにこ笑顔で 元気にあいさつ・返事をする
進んで、学習と生活をつなぎ、最後までやりぬく
高学年を中心に、たすけ合って、主体的に活動する

【めざす生徒像】

「守・破・離」の精神を貫く生徒
～型を基盤に、自分の個性を発揮し、
生き方を自己選択・自己決定し、自律する～

【研究主題】

主体的に学び、思考力・判断力・表現力を身に付けた児童生徒の育成
～生活をよりよくしようと、自分の考えを表現する力を培う指導・支援～

【研究仮説】

生活場面と結び付けた単元開発や教材開発を行えば、児童生徒が主体的に学習に取り組むことができるだろう。そして、児童生徒が基礎・基本を身に付け、思考を深め学びをつなぐための手立てを行えば、思考力・判断力・表現力が高まるだろう。

【研究内容】

(1) 学びの主体性の喚起

- ①生活場面や他教科等との関連を図った単元開発（仁方中学校区学習過程）
- ②児童生徒にとって身近な事象や生活場面からの教材開発

(2) 思考力・判断力・表現力を高めるための手立て

- ①つまずきに応じた支援の工夫
- ②思考を促す工夫
- ③学びをつなぐ振り返りの工夫

【児童生徒の実態】

- ・学習内容を生活場面とつなげて考えることができるようになってきた児童生徒がいる一方、学ぶ意義を実感したり、意欲をもって主体的に取り組んだりすることが難しい児童生徒もいる。
- ・基礎学力の定着が弱いことから、思考を深め、表現することが難しい児童生徒がいる。

学びの基盤

スキルタイム、スマイルタイム、ぐんぐんノート等、
学びに向かう意欲 「知りたい・学びたい・できる
ようになりたい」

「N中メソッド」による学びの風土づくり
・週末課題・読書活動・補充学習を通して学びの
土台づくり
・キュビナ等を効果的に活用した個別最適な学び